

「新しい生活様式」を踏まえた地域福祉活動の取組み

新型コロナウイルスの影響で、大分市においても、これまで行われていた住民同士の「つながりづくり」や「助け合いの仕組みづくり」などの地域福祉活動の継続が難しくなっている状況です。

このような状況の中、感染拡大を予防するための「新しい生活様式」を踏まえた取組みを行いながら、活動を継続している地域があります。

市社協としても、こうした事例を参考にしながら、地域活動を再開・継続するための支援を行っています。

家での親子のふれあい支援

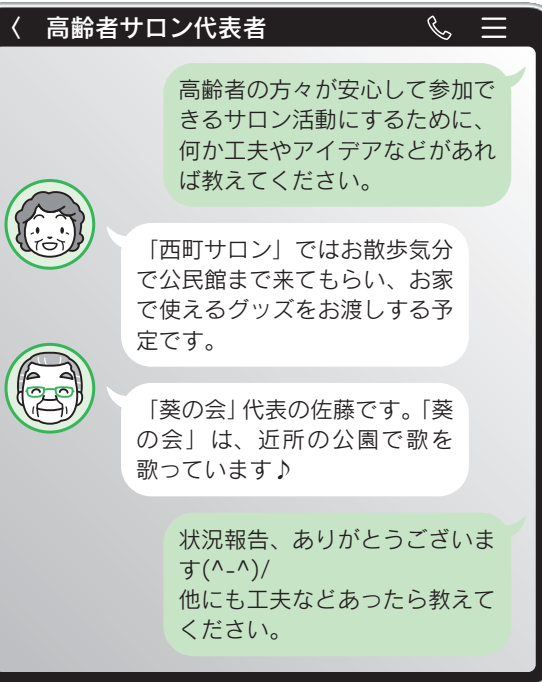
ある子育てサロンでは活動自粛中でも、参加者とのつながりを保てるよう、手作りのガーゼマスクや、家で遊べる工作キットを送る取組みを行いながら、親子でのふれあいを支援しています。



オンラインでのつながりづくり

高齢者サロンを運営するうえでの工夫を、運営ボランティア同士で情報共有するために、SNS^(※)を活用している地域もあります。

様々な年代の方が、直接会わずにつながることができます。



※SNSとは、インターネットを活用したコミュニケーションを提供する会員制サービスを指します。

少しの時間でも「集いの場」を継続

日頃開催している講話や昼食会などを短時間のおしゃべりに代えることで、高齢者の閉じこもり予防に取り組む高齢者サロンもあります。



大分市社会福祉協議会は、皆様からの会費やご寄付により支えられています。

1 地域福祉推進事業

- (1) 第5次地域福祉活動計画の推進（計画期間令和元年度から令和5年度）
- (2) 小地域福祉ネットワーク活動事業（対象者数14,366名 協力者数11,597名）
校（地）区社協連絡会議（2回、延べ264名）、地域福祉推進委員研修会（2回、延べ166名）
- (3) 生活支援体制整備事業（7校（地）区社協の地域福祉活動計画策定支援）
- (4) 大分市地域ふれあいサロン事業（高齢者サロン306サロン）
大分市地域ふれあいサロン代表者等の事務説明会（参加者数428名）
- (5) ふれあい・いきいきサロン事業（子育てサロン34サロン）
子育てサロン研修会（参加者数44名）、子育てサロン連絡会（参加者数45名）

2 ボランティアセンター事業

- (1) 点訳ボランティア養成講座（45回、受講修了者8名）、朗読ボランティア養成講座（10回、受講修了者18名）
- (2) ボランティア活動支援（約1,800件の窓口相談、電話相談に対応）
- (3) 福祉副読本「ふくしの心」（CD-R）を作成し、小学校5、6年生を対象に配布
- (4) 福祉学習講座（35小中学校、2,888名）

3 災害時支援活動整備事業

- (1) 被災地の災害ボランティアセンター運営支援
（佐賀県多久市・武雄市、茨城県大子町に計7名の職員を派遣）
- (2) 「災害ボランティア養成講座（基礎講座）」の開催（参加者数332名）
- (3) 災害ボランティアの登録拡充（災害ボランティア登録者数365名（前年度登録者数241名））

4 啓発・広報活動

- (1) 第50回大分市社会福祉大会の開催（参加者数約800名）
- (2) おおいた市社協だよりの発行（年2回）、「ボランティアだより」の発行（年3回）

5 福祉サービス利用支援事業

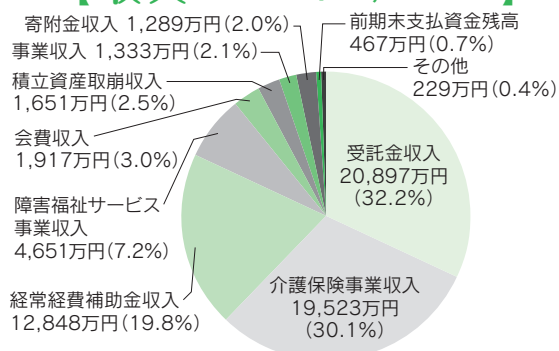
- (1) 大分市自立生活支援センター（新規相談受付件数1,234件）
- (2) 日常生活自立支援事業（相談対応件数177件、契約件数36件）
- (3) 大分市成年後見センター事業（相談対応件数364件）
市民後見人養成講座（8回開催、延べ人数170名）
- (4) 障がい者相談支援事業（相談対応件数1,050件）
- (5) 地域包括支援センター事業（相談対応件数 城東地域包括支援センター 6,009件、佐賀関・神崎地域包括支援センター 5,865件、認知症地域支援推進事業677件）
- (6) 音楽指導員の派遣（派遣回数1,039回）

6 介護保険・障害者自立支援事業の実施・充実

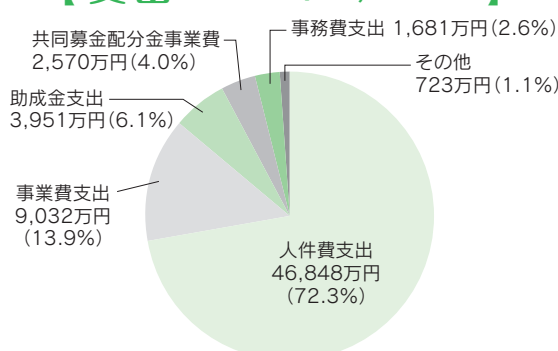
- (1) 訪問介護及び介護予防・日常生活支援総合事業（延べ利用者数19,334名）
- (2) 通所介護及び介護予防・日常生活支援総合事業（延べ利用者数5,942名）
- (3) 居宅介護支援及び介護予防支援事業（ケアプラン3,727件、介護予防プラン358件）
- (4) 障がい福祉サービス事業等（障がい福祉サービス事業延べ利用者数8,405名、特定相談支援事業利用計画作成等件数444件）

収支決算報告

【収入／合計 6億4,805万円】



【支出／合計 6億4,805万円】



基本方針

大分市社会福祉協議会では、国が提唱する「地域共生社会の実現」に資する取組みを進めていくため、平成30年度に大分市とともに本会との一体的な計画として、令和元年度から5年間で計画期間とした「第4期大分市地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画～みんなが主役の支え合いプラン～」を策定しました。

令和2年度は、本計画に掲げる事業の着実な推進に努め、「支え合って 共に生きる みんなが主役のまちづくり」の実現に向け取組んでまいります。

事業展開の方針

1

地域のつながりをつくる

- (1) 福祉副読本及び福祉学習の手引きの配布
- (2) 地域住民の交流の場となるふれあい・いきいきサロンの活動支援

4

安全・安心をつくる

- (1) 災害ボランティアセンター運営体制の整備
- (2) 大分市成年後見センター事業の推進

2

地域で支え合う体制をつくる

- (1) 地域福祉推進委員の育成・支援
- (2) 校（地）区社協活動の充実



5

介護保険事業の経営安定化

- (1) 老人デイサービスセンターさざんかの利用者増への取組み
- (2) 介護保険サービスセンターさざんか運営体制強化への取組み

3

地域課題を解決できる体制をつくる

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業の充実強化
- (2) 障がい者相談支援事業の充実強化

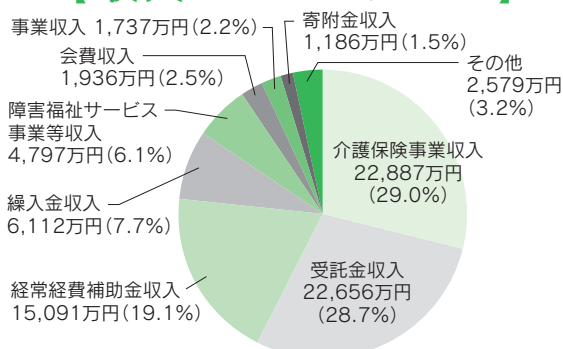
6

法人運営の基盤整備と強化

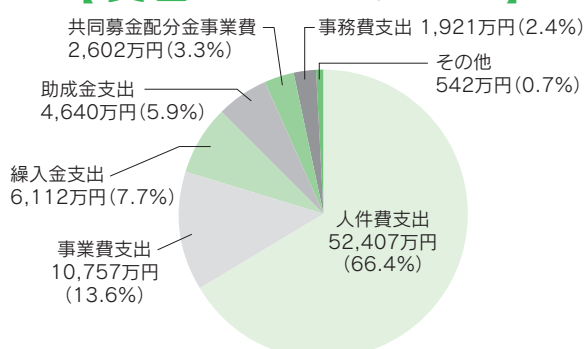
- (1) 自主財源の確保
- (2) 効率的な人材育成に基づく人事管理

予算概要

【収入／合計 7億8,981万円】



【支出／合計 7億8,981万円】

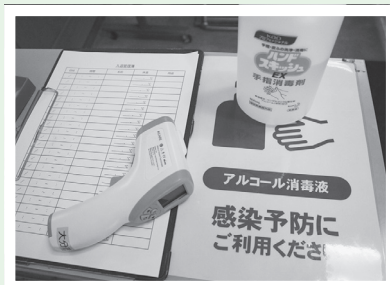


「デイサービスセンターさざんか」

～新型コロナウイルス感染防止に向けて～

現在、介護保険事業所などでは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、様々な取組み（検温、消毒、換気、事業所への立入制限など）が実施されております。

今回、「デイサービスセンターさざんか」の取組みや活動について、その一部をご紹介します。



【立入制限】

来所者の方には、来所者記録へのご協力をお願いしております。（氏名、体温等を記録）



【衛生管理】

職員はマスクの着用、手洗い、手指消毒と併せて、消毒室にて全身消毒を行っております。



【マスク作り】

希望者の方を対象に、「手作りマスク教室」を開催致しました。

※デイサービス無料体験受付中！ ☎097-543-7171

お礼

善意のご寄附をいただき 誠にありがとうございます

（令和2年1月～令和2年5月）敬称略

◆ 香典返し寄附

- | | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| ・大分地区 | 85件 | ・鶴崎地区 | 37件 |
| ・大在地区 | 18件 | ・坂ノ市地区 | 42件 |
| ・大南地区 | 11件 | ・植田地区 | 35件 |
| ・佐賀関地区 | 14件 | ・野津原地区 | 18件 |

◆ 篤志寄附

宮崎恵美子（寒田北町）／三ヶ尻毎汎（荷揚町）
／大分商工会議所青年部／ボランティア豊府

◆ 高額寄附（香典返し・篤志）

岩田智子（牧）／大塚忠宏（久原南）／那賀玉
徳（毛井）／縄田睦子（城南山手台）／大塚和
恵（明野高尾）／梅津照子（顕徳町）

お礼

市社協会員会費へご協力 ありがとうございました

（令和2年1月～令和2年5月）敬称略

市民の皆様をはじめ、企業や団体等多くの方々からいただく会費は、地域福祉を推進するための事業に活用しています。

令和2年1月から令和2年5月までに5,000円以上の会費納入をされた特別会員をご紹介します。

◆ 特別会員の紹介（令和2年1月～令和2年5月）

大分市母子寡婦福祉会



社会福祉協議会は、住民の皆さんが安心して暮らすことが出来る地域福祉を実現するために、そこで暮らす住民の皆さん、社会福祉や保健、医療、教育などの関連分野の関係者、地域社会を形成する他の様々な専門家、団体、機関などによって構成された公共性と自主性をもった民間組織です。

おおいた市社協だより vol.140

[編集・発行] 社会福祉法人 大分市社会福祉協議会
〒870-0839 大分市金池南一丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階
TEL 097-547-8154 FAX 097-547-9559
ホームページ <http://www.oita-syakyo.jp/>